



おだ学園保育園通信



新年あけまして おめでとうございます

ご家族の皆さまにとって、穏やかで心あたたまる新年の始まりとなりましたことを、心よりお喜び申し上げます。

日頃より、おだ学園保育園の保育と教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

長期の休み明けの3, 4, 5歳組の人たちは皆が顔を合わせて、お正月を通してそれぞれに自分の経験したことや遊びを伝え合っていました。その中でも「雪が降って遊んだ」の一人の子の一言からどの子も雪の印象が大きかったのか「ゆき」「ゆき」と「ゆき」コールで声が膨れ上がり何故か？ぴよんぴよん跳ねて大盛り上がりでした。久しぶりに会った人たちとの嬉しさを共有していた一コマでした。

子どもたちは日々園生活の中で、遊びや関りを通して様々な思いを抱きながら成長しています。

詩人・金子みすゞさんの「みんなちがって、みんないい」

この言葉のように、集団で生活はしていますが子どもたちは一人ひとりがかけがえのない存在でありまた、お互いに影響することも多くあります。

得意なことも、好きなことも、成長の歩みもそれぞれ違うので私たちは、その「ちがい」を大切にし、それぞれが自分らしく輝けるよう子どもたちの心に寄り添った保育を行ってまいります。

本年も、子どもたちが安心して自分らしく過ごし、思いやりの心や自ら考える力を育ていけるよう、職員一同力を合わせて取り組んでまいります。

保護者の皆様におかれましては、引き続き温かなご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

おだ学園保育園の子どもたちや保護者の方々、職員にとってもこの一年が笑顔と実りに満ちた年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

●幼児組は毎年無病息災の願掛けに近隣の諏訪神社にお参りに行きます。

